

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 27 年 4 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。
乗鞍岳は活火山である事に留意してください。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原遠望カメラ（乗鞍岳の東北東約 7 km）による観測では、今期間、噴気は認められません。

・地震活動（図 2 - 、図 3）

今期間、火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況

（4 月 12 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 5 月分）は平成 27 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

乗鞍岳

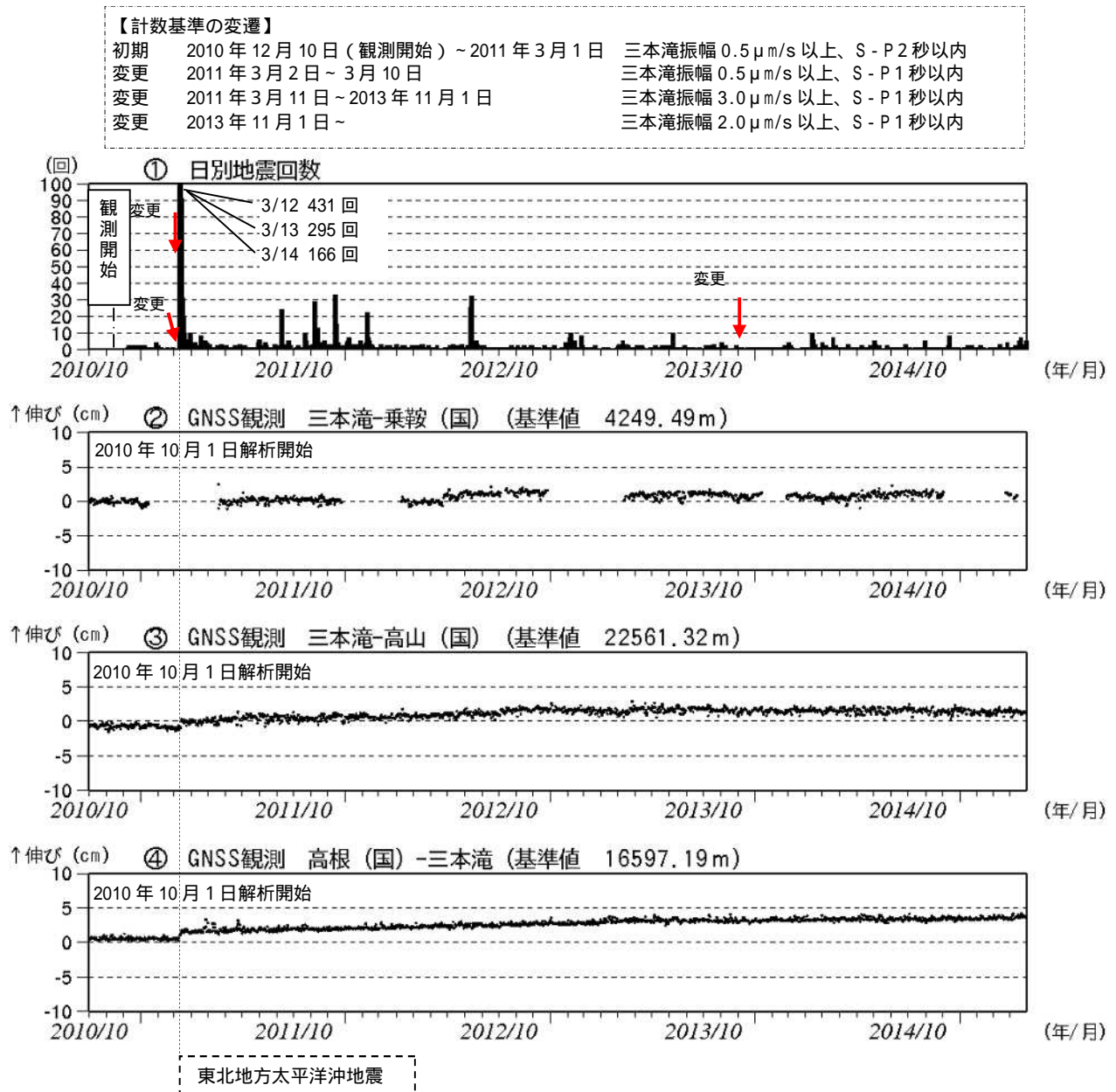


図2 乗鞍岳 火山活動経過図

乗鞍岳周辺の日別地震回数(2010年12月10日~2015年4月30日)

~ : GNSS連続観測による基線長変化(2010年10月1日~2015年4月30日)

(国): 国土地理院

の基線には、東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)に伴うステップ状の変化がみられます。

~ は図4のGNSS基線 ~ に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を示しています。

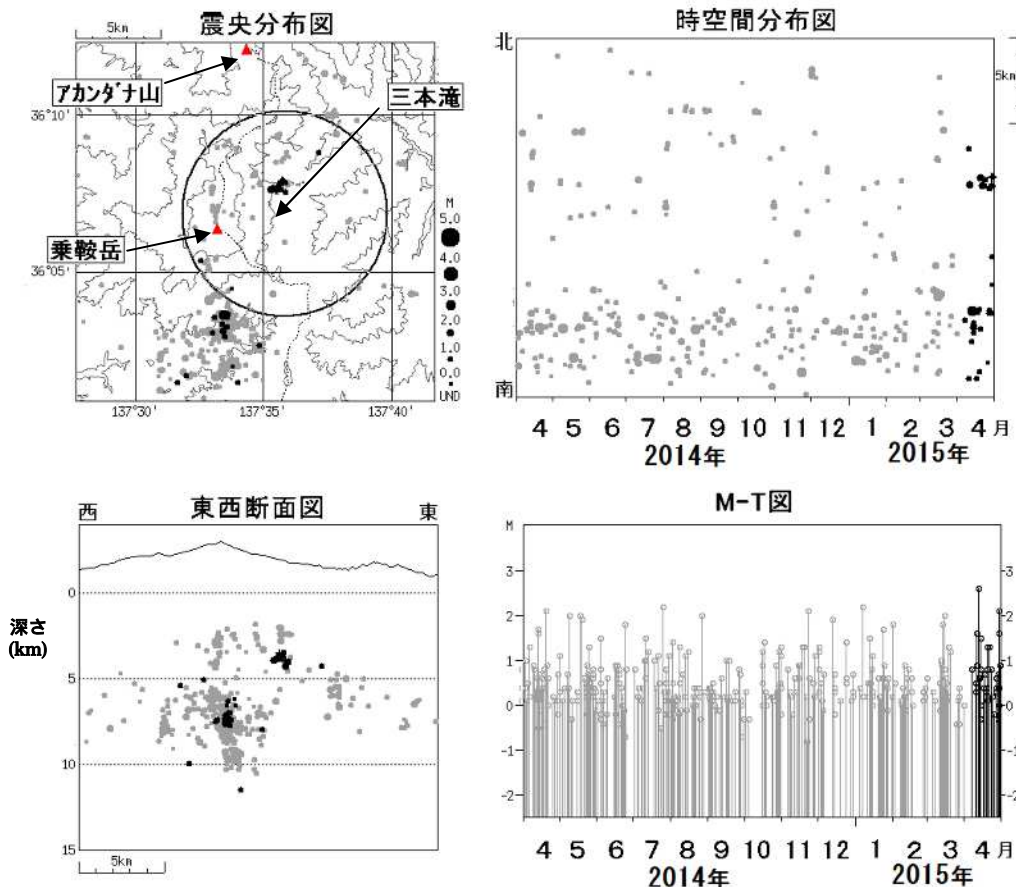


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2014年4月1日~2015年4月30日)
 : 2014年4月1日~2015年3月31日 : 2015年4月1日~4月30日
 震央分布図中の円は図2の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲。
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

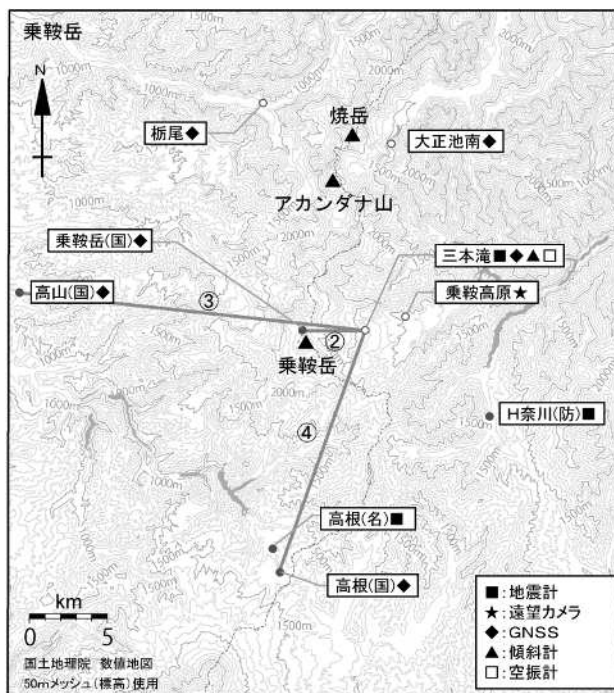


図4 乗鞍岳 観測点配置図
 GNSS基線 ~ は図2の ~ に対応しています。